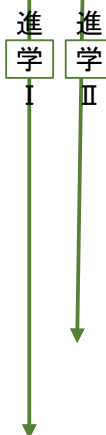


レベル説明

レベル	JFスタンダード	CEFR	JLPT	目標	概要	メインテキスト (総合日本語)	漢字テキスト
初級Ⅰ	A2.1	A2	N5	具体的な欲求を満たすために必要な、平易で限定的な表現でコミュニケーションができる	文字を正確に読めることと、ひらがなを正確に表記することを丁寧に取り組むことで、中級以降の読解力を高めることに努めます 日常生活の中で必要な表現を学ぶとともに、モデル文を通してどのように文章にしていかなど書くスキルも高めていきます。	できる日本語初級	漢字たまご 初級
初級Ⅱ	A2.2	A2	N4	家族や友達、アルバイトなど身近な話題について、平易な表現でコミュニケーションができる	興味のある分野だけでなく、ニュース等を通し時事的な話題にも目を向けていきます。	できる日本語中級	漢字たまご 初中級
中級Ⅰ	B1.1	B1	N3前半	自分の趣味など興味を持っている分野について、様々なストラテジーを用いてコミュニケーションができる	進学後を見据えて、少し専門的なことや、時事ニュースを通して日本語を学びます。	できる日本語中級	スピードマスター N3
中級Ⅱ	B1.2	B1	N3～N2	自分の将来や興味のあることについて、準備することで「今・ここ」でない範囲にもコミュニケーションができる	コースの総まとめとして、自己表現を目的としたプロジェクトワークに取り組みます。	TRY!N1	スピードマスター N2
上級Ⅰ	B2.1	B2	N2	希望する専攻分野について事前に準備することで、その内容についてコミュニケーションができる			



本校のメインテキストは「できる日本語」を採用しています。教科書のコンセプトに賛同し、このコンセプトに則り、「自分のこと／自分の考えを伝える力」「伝え合う・語り合う日本語力」を身につけることを目的にした授業を行っています。本校ではこういった自分のことを伝えることができる力が、日本語学習のモチベーションを高め、何よりもこれからの多文化共生を目指す日本社会において、異文化環境で育った自分たちを理解してもらうために必要な能力だと考えて毎日の授業に取り入れています。

参考資料

"学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠", (CEFR) 共通参照レベル：全体的な尺度 <https://jfstandard.jp/pdf/whole_standard.pdf>

国際交流基金,JF日本語教育スタンダード2010 [第三版]

できる日本語HP「できる日本語ひろば」"コンセプトの説明" <http://www.dekirunihongo.jp/?page_id=167>